

ウォッチガード、NDR 機能を拡充し、 MSP や中小／中堅企業向けに高度なネットワーク脅威検知を実用化

組み込み型検知機能、マネージドサービス、自動レスポンスにより、NDR の導入が容易に

2026年4月3日（金） - 企業向け統合型サイバーセキュリティソリューション（ネットワークセキュリティ／アイデンティティセキュリティ／エンドポイントセキュリティ）のグローバルリーダーである WatchGuard (R) Technologies の日本法人、ウォッチガード・テクノロジー・ジャパン株式会社（本社：東京都港区、代表執行役員社長 谷口 忠彦、以下ウォッチガード）は、組織が AI を活用した脅威検知機能を容易に導入・拡張できるよう、「WatchGuard NDR for Firebox」、「WatchGuard Managed NDR」、「WatchGuard Total NDR」の拡張機能を発表しました。これらの機能により、複雑さを増すことなく、悪意のある活動を検知、調査、封じ込めが可能になります。実績豊富なネットワーク検知／レスポンス（NDR）機能の拡充により、中小／中堅企業（SME）やマネージドサービスプロバイダー（MSP）は、今日の攻撃に対して重要なネットワークセキュリティの脆弱性に対処できるようになります。

新たに拡張されたウォッチガードの NDR 機能には、以下のものが含まれます：

- **WatchGuard NDR for Firebox**：既存のファイアウォール環境に高度な検知機能を直接組み込むことで、スタンドアロンのセンサーや新しいハードウェアを不要にします。ネットワーク内にすでに存在するテレメトリデータを活用することで、トラフィックの詳細な可視化と行動分析が可能になります。統一された管理インターフェイスを通じて提供され、WatchGuard Unified Security Platform (R)（統合型セキュリティプラットフォーム）に統合されるため、検知機能は別途管理が必要な独立したツールではなく、既存のセキュリティ運用を自然に拡張するものとなります。
- **WatchGuard Managed NDR**：専任のセキュリティ運用チームを持たない組織向けに、ウォッチガードのセキュリティオペレーションセンター（SOC）が提供するサービスであり、継続的な監視、調査、および適切な対応支援を行います。これにより、MSP や中小／中堅企業は、社内に SOC を構築したり人員を配置したりすることなく、高度な検知機能を運用に活用することができます。
- **WatchGuard Total NDR**：ThreatSync XDR との統合により検知範囲を拡大し、Fortinet、Palo Alto Networks、Check Point といったサードパーティ製ファイアウォール全体で IP アドレスの自動ブロックを可能にし、マルチベンダー環境における連携した対策をサポートすることで、脅威の封じ込めを迅速化します。

ウォッチガードのチーフプロダクトオフィサー、Andrew Young（アンドリュー・ヤング）は次のように語っています。「企業はファイアウォールを越えた検知の必要性を認識していますが、運用上の複雑さにより導入が進んでいません。当社は高度な検知機能の導入と管理を簡素化することで、MSP や IT チームがインフラや運用コスト、専門スタッフを増強することなく、NDR を運用できるようにします。」

組み込み型の検知機能、専門家によるマネージドサービス、自動化されたクロスプラットフォームレスポンスを組み合わせることで、ウォッチガードはネットワーク検知／レスポンス（NDR）を、専門的な機能から、昨今のセキュリティ運用において誰もが利用できる拡張性のある基盤へと変革しています。脅威アクターは、暗号化されたトラフィック、詐取した認証情報、信頼の置ける管理ツールを日常的に悪用し、ネットワーク内で水平展開し、検知を逃れています。NDR は、正当なネットワークトラフィックに潜む重大な脅威を検知するための重要なレイヤとして重視されるようになってきましたが、従来のソリューションをサポートするために必要な技術的リソースや人的リソースが、MSP や中小／中堅企業による広範な導入を妨げてきました。

ウォッチガードの NDR 機能は、ユーザー、デバイス、接続にわたる行動パターンを分析し、悪意のある活動を早期に検知することで、攻撃者の潜伏時間を短縮し、侵害による影響を最小限に抑えます。今回の機能拡張により、ウォッチガードは CRN から「Network Security Product of the Year」に選出され、SPARK Matrix から「リーダー」として評価された実績豊富な NDR ソリューションをさらに強化するとともに、日常的な導入や運用において NDR をより実用的なものとしています。

「多くの中堅企業は NDR の重要性を認識しているものの、導入や運用における複雑さに頭を悩ませています」と、IDC のセキュリティ／トラストプロダクトグループ担当リサーチバイスプレジデントの、Chris Kissel（クリス・キッセル）氏は述べています。「既存のインフラに検知機能を組み込み、各種の仕組みが混在している環境全体で自動対応を可能にすることで、高度な脅威対策の導入障壁を大幅に下げることができます。」

*本資料は、本社が発表したプレスリリースの翻訳版です。

【WatchGuard Technologies について】

ウォッチガードは、マネージドサービスプロバイダー（MSP）向けに設計された統合型サイバーセキュリティ分野におけるグローバルリーダーです。30 年以上にわたり、MSP が大規模なセキュリティ対策を提供する方法を確立し、脅威情勢のあらゆる大きな変化に先んじるべく、絶えず革新を続けてきました。AI を活用した「Unified Security Platform (R)」により、ゼロトラストに対応したネットワーク、エンドポイント、アイデンティティ保護機能を単一の統合プラットフォームで提供し、複雑な運用の軽減、対策成果の向上、ビジネスの効率的な成長を可能にします。世界中で 150 万社以上の顧客を保護する 25,000 社以上の MSP に利用されており、パートナーが世界中の顧客に対して、強力かつ測定可能なセキュリティの成果を提供できるよう支援しています。

さらなる詳細情報、プロモーション活動、最新動向は X (@WatchGuardJapan)、Facebook (@WatchGuard.jp)、をフォローして下さい。

X : <https://twitter.com/WatchGuardJapan>

Facebook : <https://www.facebook.com/watchguard.jp>

また、最新の脅威に関するリアルタイム情報やその対策法は SecplicityJP までアクセスして下さい。

SecplicityJP : <https://www.watchguard.co.jp/security-news>

WatchGuard は、WatchGuard Technologies, Inc.の登録商標です。その他の商標は各社に帰属します。

【本プレスリリースに関するお問合せ】

ウォッチガード・テクノロジー・ジャパン株式会社

〒106-0041

東京都港区麻布台 1-11-9 BPR プレイス神谷町 5 階

マーケティング担当

Tel : 03-5797-7205 Fax : 03-5797-7207

Email : jpsales@watchguard.com

URL : <https://www.watchguard.co.jp>